

学生の確保の見通し等を記載した書類

平成 31 年 4 月

宇都宮大学共同教育学部
群馬大学共同教育学部

学生の確保の見通し及び申請者の取り組み状況

目次

(1) 学生確保の見通し	p. 3
① 定員充足の見込み	p. 3
② 学生定員について	p. 6
(2) 学生納付金の設定の考え方	p. 8
(3) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況	p. 8
(4) 人材需要の動向等社会の要請	p. 9
資料	p.11

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

(志願状況)

宇都宮大学教育学部は学校教育教員養成課程と総合人間形成課程の2つの課程を持っていたが、平成28年に学校教育教員養成課程一本に改組された。平成27年以降の学校教育教員養成課程の入学試験の実質倍率は、資料A1-1に見られるように、入試全体では2.1～2.6倍であるが、前期日程と後期日程を合わせた一般入試では2.0～2.7倍であり、一年おきに増減するいわゆる隔年現象を見せている。一方、推薦入試においては、2.5～3.3倍と2倍を大きく上回っている。一般入試において宇都宮大学教育学部は、類似する教育分野をまとめた系単位の入試を行っている。系ごとに入試状況を見てみると、教科理系が改組後の前期日程では1.6～1.9倍と2倍を下回ってはいるが、他の系ではおおむね2倍を超えている（募集定員一ケタの後期日程は変動が大きい）。教育学部にたいする期待度を示すものと考えられる推薦入試IB（系・専攻を指定しない、学部全体一括の推薦入試）は2.0～2.4倍であり、十分に高い値となっている。

一方、群馬大学教育学部（資料A1-2）は、平成30年度こそ入試全体及び一般入試で2.2倍と低い結果であったが、それ以外では漸減傾向はあるものの2.6～4.4倍と高い倍率を示している。群馬大学教育学部は教育人間科学系以外では、一般入試、推薦入試とも専攻単位の入試を行っていることから、専攻単位での状況を見ると、専攻によっては隔年での増減があるものの、2倍ないし2倍を上回る状況にあり、定員割れを起こした年度はない（教育人間科学系の教育・教育心理・障害児教育の3専攻については、系単位の大枠入試を行っているので平成30年度入試においても実質倍率は1.6倍である）。

周辺大学の教育学部の志願状況と比べると、両大学とも志願倍率は少し低いが、おおむね2倍強の安定した倍率であり、受験生の学力を評価し入学者を選抜できるだけの志願状況を維持していると考えられる（資料A2）。

(地元からの志願状況)

最近6カ年の県内高校等出身者の内訳を示したものが資料A3である。宇都宮大学の場合、地元からの志願率はおおむね50%前後で、合格者・入学者での地元比率はともに60%前後であり、志願段階の比率よりも10ポイントほど高い。この傾向は群馬大学の場合も同様であるが、群馬大学の特徴は県内出身者の志願状況が60%を超える高いことで、地元志向の強い高校生が志願していることがあげられる。さらに、入学者についてみると、群馬県出身者は70%を十分に越える状況にあり、志願者レベルでの群馬県出身者の占める割合よりも、宇都宮大学と同様に10ポイントほど高い状態で推移している。この両大学の状況は、他県出身者に比べ学力レベルの高い県内出身者が多数受験し、合格・入学していることを示している。実際、高校の進路指導教員との面談でも、「学年のトップクラスの学生に受験を薦めている」との声がある。

他県出身の入学者の構成としては、近隣の埼玉県・福島県・茨城県が目立つが、最大でも10%以下である（資料A4）。実際、平成30年度の両大学教育学部志願者数のべ

スト 40 校をみると、25 校(宇都宮大学)及び 30 校(群馬大学)が地元県出身者であり、さらに上位 20 校に絞ると、共に 17 校までが地元の県内高校出身である。また興味深いことには、宇都宮大学を志願する上位 40 校のうち群馬県内の高校は 1 校のみであり、また群馬大学を志願する栃木県内の高校は 3 校のみで、かつ 2 校は栃木県最西端の足利市の高校である。群馬県出身の宇都宮大学入学者、並びに栃木県出身の群馬大学入学者はともに 5 % 程度であり、近接県でありながら相互の行き来が少ないという特徴がある。

これらの特徴は、両大学教育学部と県内高校・教育委員会との間で培ってきた強い連携関係によるものであり、その関係は高校生にも進路指導の先生などからのアドバイスなどを通して伝わってきたことによると考えられる。また、両県の生徒にとって、宇都宮大あるいは群馬大出身の先生から授業を受けたことのない生徒はいないことも大きい。このような条件の下で、高校生の強い地元志向の傾向が今後大きく変わるということは考えられない。つまり、両大学にとって県内からの志願者の確保が、定員充足ということだけでなく、入学者の学力レベルの確保という点でも極めて重要なものであることが分かる。

(栃木県、群馬県内高校生に対する共同教育学部についての意識調査)

宇都宮大学教育学部では、共同教育学部構想に対する現役高校生の意見を聞くことを目的として、平成 31 年 4 月上旬にアンケート調査を実施した。アンケートは、宇都宮大学教育学部への進学者が多い栃木県内の高校 8 校に依頼して、主として将来教員を目指している 2、3 年生を中心に、共同学部構想パンフレットを読んだうえでアンケートに回答してもらった。以下にアンケートの集計結果について述べる(資料 A5-1)。

回答者は 8 校合計で 246 名であった。内訳は、男子 92 名、女子 154 名、学年別では、2 年生 92 名、3 年生 154 名であった。

資料より、今回の回答者の 73% が教員志向の高校生であることが分かる。パンフレットを読んだ感想として、89% の高校生が共同教育学部のメリットについては理解したと回答したうえで、共同教育学部を作ることによって期待される特徴については、資料の(4)のような回答が得られた。これを見ると、どの項目に対しても肯定的な回答が 80% を超えており、高校生が共同教育学部に対して非常に肯定的に受け止めていることが分かる。特に、幅広い教育が受けられること、群馬大学の講義を受講できることに対しては 60% 以上の高校生が意義を感じると回答している。また、メディアを使うことにより、ほとんどの講義を自大学で受講できることにメリットを感じつつ、相手大学の学生との交流にも高い期待を持っていることが分かる。

総合的に見て、共同教育学部を受験したいかという問いに対しては、将来教員をめざす高校生のうち、86% の高校生が受験したいと回答している。その理由を聞いたところ、地元の大学であることと、教員養成学部であることが大きな理由であるものの、「共同学部の魅力を感じたから」という回答も約 20% あった。今後広報活動に積極的に取り組むことにより、高校生の理解を得ることは十分に可能であると考えられる。

同様に、群馬大学教育学部においても、群馬県内の高校を中心に、群馬大学教育学

部への志願者数の多い高校の生徒（平成 30 年度現在 1、2 年生中心、445 名）に対して、共同教育学部の構想についてのアンケート調査を実施した。実施に当たっては、事前に進路指導の教員に連絡し、関心のある生徒に集まってもらい、群馬大学教育学部教員が本設置構想の概要（設置の背景・必要性、目的・趣旨、共同教育学部の特色、教育課程の概要・特色、入学試験の概要等）を説明した。その上で、本設置構想に関する意見および入学意思などの設問についての回答を得た。（資料 A5）

回答者総数 445 名のうち、学校教員志望者は 375 名で 84.3% であり、今回の意識調査が教員志望者からのアンケートとして考えることができることがわかる。群馬大学教育学部志望者は「少しは入学したい」という生徒まで含めると 404 名で 90.8% という高い比率である。また、共同教育学部を作ることについての理解を聞いた質問では、「ある程度は理解できる」と答えた生徒まで含め、434 名という高い数字で、昨今の少子化・教員需要減という小中学校教員志望者にとっての厳しい状況を、生徒たちはかなりの程度まで認識していることが分かる。共同教育課程の特色の中で、特にどこに関心を持ったかという問いについては、「群馬大学の教員からだけでなく宇都宮大学の教員からも学ぶことができ、充実したスタッフと教育プログラムによって幅広く多くのことが学べること」、「地元にながら教員となるための教育を自大学で受けられること」、「新学習指導要領に対応した新規の授業を受けることができること」などの意見があり、本共同教育学部の設置構想が狙っていた目標・効果について高校生からの期待が大きいことが伺える。

今回設置しようとしている共同教育学部への受験意思を尋ねた質問では、「受験したい」、及び「少しそう思う」まで含めると、401 名（90.1%）ときわめて高い結果である。その教員志望理由については、地元の国立大学だからという理由が大きい。共同教育学部の仕組みに魅力を感じて、受験しようと思うかという問いには約 1/3 の生徒しか反応していない。これは、これまでの群馬大学教育学部の教員養成実績に対して強い信頼があり、共同教育学部設置により教育学部の教育の仕組みには本質的な変化がないことを理解した結果であり、地元の国立大学で教員になることができるシステムがあることが高校生にとって最も重要で、それがあってこそその共同教育学部であり、特別に「共同教育学部の仕組みに魅力を感じる」のではないのだと考えられる。また同時に、129 名（34.4%）という多くの高校生が共同教育学部に魅力を感じてくれるということは、彼ら・彼女たちが教育学部への受験志望意欲がはっきりとしており、群馬大学の教育学部がどうなっていくのかを気にかけていた生徒たちだったと考えられる。

共同教育学部に対する感想について自由記述で書いてもらった典型的な意見をみると、総体として、非常に肯定的で期待感が高いことがわかった。

（人口動態及び大学等進学率の動向）

栃木県、群馬県、埼玉県の人口動態調査（資料 B1）を見ると、18 歳人口は平成 30 年度では栃木県 1.85 万人、群馬県 1.99 万人であり、埼玉県は 6.97 万人と栃木・群馬両県の約 3.5 倍となっている。大学受験年齢の 18 歳となる人口の将来推計で考えると、社会増・減を考えに入れないと、栃木県では 94.2%（5 年後）、88.2%（10 年後）、埼玉

県では 93.5% (5 年後)、91.2% (10 年後)なのに対して、群馬県は 87.9% (5 年後)、80.4% (10 年後)と極めて大きく減少している。群馬県では少子化の急速な進行があることが分かる。大学等進学率は栃木・群馬県ともおよそ 52%でほぼ安定しており、また大学進学率では地域としてもほぼ変化は見られないが、栃木県が 48.4%と 47.0%の群馬県よりも少し高い結果 (H28 文科省データ) となっている(資料 B2-4)。

以上のことをまとめると、少子化に伴う教員需要の減及びそれを加速させる退職教員の減(後述)という現実をふまえ、地元志向の強い高校生に対し質の高い教員養成教育を基礎にして、教員就職に確実に繋がる定員管理を行うことが大切であり、それによって両大学の共同教育学部ともに定員を十分充足できる状況にあるといえる。

② 学生定員について

(県内・近隣大学の中学校教科免許状況)

栃木県・群馬県内の他大学の中学校教科の免許状況を資料 C1 に示す。社会、英語、保健体育等については複数の大学で免許取得が可能となっているが、県の教員採用に実質的に影響している大学は限られており、教員採用実数としてはほとんどいないという状況である。また、数学、理科、技術という理科系教科に関しては宇都宮・群馬大学以外の大学はほとんどない状況であり、両県の義務教育課程の運営にとって、宇都宮大学・群馬大学はその基幹的な位置を占めていることがわかる。

(年齢別教員数)

資料 C2 に群馬県、栃木県並びに全国の公立小中学校の年齢別教員数(平成 28 年度版)のデータを示す。おしなべて、平成 37、38 (令和 7、8) 年頃の時期から急速な退職者数の減少期に入る。群馬県の場合、栃木県と比べ、平成 42、43 (令和 12、13) 年という早い時期に退職者数の最少期に入り、多少の揺り戻しがあるが平成 50(令和 20) 年頃からはほとんど変化がなくなり退職者はピークの平成 30 年度退職者の 5 割強程度にとどまっている。一方栃木県の場合、最少期に入るのは群馬県よりも遅く、平成 47、48 (令和 17、18) 年度の退職であるが、群馬県と同様にその後もピーク時の半数程度で推移している。全国の動向は、最少期は平成 46、47 (令和 16、17) 年頃であるが、その後平成 60 (令和 30) 年頃には回復しピークの 7 割強程度まで増加している。退職者の減少は教員需要の減少を意味し、少子化による小中学校の生徒数の低下と相まって、さらに強く現れてくることとなる。以上の結果、設置後完成年度での卒業生に対する、定年退職者の減による教員需要減の影響について、栃木・群馬両県では特に考慮が必要であることがわかる。

(教員養成課程の大学別就職状況)

文科省提供の教員養成課程の大学別就職状況(資料 C3)によると、宇都宮大学の教員就職率は、平成 25~28 年頃は 70%を上回る高い就職率をあげているが、直近の平成 30 年度では全国平均を下回る状況にある。この理由としては、平成 28 年改組により改編され分離した総合人間形成課程の影響があるものと考えられ、実際、未就職者は

全国平均を大きく下回っている。一方、群馬大学の教員就職率は平成 25～30 年にわたっておおむね全国平均を上回る 70% 強の数字であり、特に正規採用者が多いことが特徴になっている。また、大学院進学者及び民間就職者を除いた未就職者も極めて少なく、教員志望者はおおよそ希望通り教員に採用となっている。

(近隣県を含めた教員採用試験状況)

資料 C4 で、小中学校教員の採用試験合格者の周辺県の結果との比較を示しているが、群馬県は採用者数が一番少なく、県の人口が同程度(約 200 万人)の栃木県と比べてもかなり少ない。これは前述の退職教員の急激な減少を見越してのものと思われる。また、群馬県以外の栃木・茨城・埼玉の 3 県では、小学校合格者が中学校合格者のおおよそ 2 倍という状況であるのに対し、群馬県の合格者の構成は、他県とは大きく異なり、小学校・中学校合同での採用予定ではあるが、中学校採用試験での合格者が大半である。群馬大学の卒業生の場合でも資料 C5 にも示されているように、群馬県教員採用合格者(小・中・高・特支)のほぼ 9 割(91 名中 77 名)が中学校での合格者となっている。このように、群馬県は周囲の県とは異なる、非常に特異な教員採用の方法を取っているが、実際に配属が必要なのは小学校であることは周囲の県と同様であることは言うまでもない。

平成 30 年度群馬県採用者について資料 C5 をみると、群馬大学の教員採用試験合格者としては小学校合格者がわずか 3 名で中学校合格者が 77 名であるのに対し、採用(配属)先で見ると小学校が 57 名、中学校が 23 名と中学校合格者の内 54 名が小学校教員として配属となっている。その結果、卒業生のうち教員採用試験合格になった者 149 名(群馬県公立 92 名(幼稚園 1 名含む)、県外公立 13 名、私立等及び非正規 44 名)のうち、中学校採用が 41 名となっている。群馬県採用試験合格の群馬大学学生(平成 30 年度では 92 名)が占める中学校採用での比率は 40% 前後という高い比率となっており、県の中学校教員合格者の確保にとって群馬大学が極めて大きな地位を占めていることがわかる。教科についての高い能力を持った中学校試験合格者から相当数程度を小学校に配属させることにより、小学校教育の質・レベルを確保・向上していこうとする群馬県の方針があらわれている。このことは、教員採用試験において、小学校免許と中学校免許の両方を持っている受験生を優先して採用するという県教育委員会の方針にも現れている。したがって、群馬県の方針に即して中学校採用試験の合格かつ小学校配属にあっても十分に教師としての力を発揮できるよう、中学校教科及び指導法のしっかりとした学習指導と小学校科目全科目の履修を併せて行うものとして、小学校 1 種・中学校 1 種の両免許の取得を群馬大学は進めてきた。このような県の方針と群馬大学の教育方針とがかみあっている群馬大学卒業生の高い教員就職率がもたらされており、これが教員志望の高校生からの高い評価、志望意欲につながっていると考えられる。

このような群馬県の教員採用の方法は、栃木県においても取り入れられつつあり、小学校と中学校の間での教員の相互の異動が行われるようになってきている。宇都宮大学教育学部においても行われている小学校 1 種・中学校 1 種両免許の取得は、それ故、教員就職において極めて有力な武器であり、教員採用実績の確実な向上をもたら

すものといえる。

（栃木県・群馬県の教員採用推計、卒業者数（入学定員）の適正規模推計）

栃木・群馬両県の人口動態および定年退職教員の減を基に教員需要を予測し、それを基に適正な共同教育学部卒業生規模を定量的に推計したものが資料 C6 である。これによると、現在の教員採用実績（占有率）を維持していくためには、両大学とも第 5 期中期計画期間には現在の 2/3 ないし 1/2 程度にまで卒業者数を減少せざるを得ないと予想される。資料 C6 に基づいての学部設置時の適正な入学定員規模については、宇都宮大学は現状規模が妥当なものであるが、群馬大学は一割程度の定員減が必要であると考えられる。従って、平成 32（令和 2）年設置を計画する共同教育学部の場合、完成年度の平成 36（令和 6）年並びにその先での教員需要に見合った定員規模を共同教育学部設置時に考慮しておく必要がある。

（2）学生納付金の設定の考え方

学生納付金は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成 16 年文部科学省令第 16 号）に定める「標準額」と同様であり、授業料年額 535、800 円、入学料 282、000 円である。学生の確保の見通しを考える上で設定する周辺競合校（茨城大学、埼玉大学）と同一の条件である。

（3）学生確保に向けた具体的な取り組み状況

（学部オープンキャンパスへの高校生の参加状況等）

学部の広報活動の重要な柱となっている全学オープンキャンパス（OC）での教育学部ブース及び学部独自の OC への参加状況についてみると、おおむね入学定員を大きく上回る高校生が参加している（資料 D1）。直近の平成 30 年度の宇都宮大学の場合、定員の約 10 倍の 1761 名の参加があり、群馬大学の場合も全学 OC での教育学部ブースには 1640 名、別の日に開催の学部 OC には 593 名の参加を得ている。OC 参加者が入学定員を大きく超えていることは、本共同教育学部に対する高校生の関心が非常に強いものがあり、入学意欲も強いものがあると考えられる。

OC 時のアンケートの回答として、約半数が「入学希望意識がとて強くなった」であり、「少し強くなった」までで考えると約 60～80%となっており、OC により入学希望意識が増進されていることが分かる。また、大学のイメージとして、やはり「国立大学であること」が大きい、「教育のレベルが高いこと」、「施設・設備が整っていること」等が高く評価されている。OC を通して大学の理解・評価につながっており、大学での学修に対する強い期待があることがわかる。OC への参加者は地理的な制約から県内の参加者が大半ではあるが、両大学の教員養成教育が高く評価されていることは、県内の教育学部入学希望者を確保するという観点から、OC が非常に有効に機能しているといえる。

（高校との意見交換等）

高校の進路指導教員との意見交換は、入試に関する説明会の場等を利用して行っている。これまでの参加高校の状況を資料 D2 に示しているが、他の学部等とも連携して積極的な

学部の紹介を行っている。出張模擬授業(出前授業)、大学見学会の状況を資料 D3 に示す。毎年、多くの高校からの見学会を受け入れているが、周辺県の高校からの見学が多い。出張授業については、学部の教員全員の協力を得て、県内高校を中心に受験者の多い高校などで数多くの回数行っている。模擬授業と同時に学部の紹介・広報も行い、志願者増につなげている。

栃木県・群馬県の教育委員会とは、資料 D4 に示すように各種多数の連携事業、共同研究を展開している。これらを通して、県内の小中高校から要請のある課題の発掘、それへの指導・助言活動を行い、現職教員の研修にも反映させている。そこでは、「とちぎの教育未来塾」、「群馬の教師力を高める」と名を打って、シンポジウム、実践交流会などを開催しており、現職教員の指導力アップを図っている。これらを基に、県内高校に対して両大学の教育学部の認知度を高め、各高校の在校生への周知・宣伝に活用している。

(4) 人材需要の動向等社会の要請

新学習指導要領では、新時代に要請される能力を育てるとして、小学校からの英語の教科、情報・プログラミング教育の導入、理科教育の充実など新たな学びの方向性が指摘されており、今後の小中学校教員にとって必須となる課題が提起されている。小学校では平成 32 (令和 2) 年から、中学校では平成 33 (令和 3) 年から、新しい学習指導要領が始まる。新学習指導要領の開始に際して、新たな学びには教員の指導力の向上が不可欠となることから教育公務員特例法の一部改正が行われ、教員に求める資質能力、教員育成指標の策定が各県教育委員会に義務付けられた。そこでは県が求める教員像を規定し、教職課程修了時あるいは教員採用時に身につけている資質能力のほか、採用後のキャリアパスの各段階における種々の指標を示し、これに従った教員の育成を進めることとされている。

栃木県、群馬県が必要としている、教職課程修了時に身につけているべき資質能力については資料 E1 に示しているが、これに応える教員養成教育を着実に遂行していくことが両大学には求められている。教職課程修了時に身につけている資質能力と共同教育学部での達成目標・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性、それを実現する教育プログラムの提供などは、大学での学習計画等の高校側との意見交換の際の鍵となる事項であり、様々な意見交換の機会を捉えて説明を行っている。

資料 E2 には、とちぎ、群馬両県の教育委員会の教育長、並びに高校長協会会長からの要望書を示している。いずれも、中学校 10 教科の安定した維持が両県の義務教育課程において不可欠のものを指摘している。また、両県共に特別支援学校教員の養成・確保が急務であり、共同教育学部設置により 5 領域全部の免許状取得が可能となることに大きな期待を寄せている。さらには、超スマート社会の到来に対して、SDGs などの現代的諸課題に対応する資質能力の育成に寄与する Forefront 科目の開設、幅広い専門分野にわたる指導、その上で、小学校・中学校両免許の取得を可能とする共同教育課程の設置に対する大きな期待があることがわかる。

資料

目次

A. 入学志願状況等	-----	p.12
A1. 教育学部専攻別志願倍率（H26～30）		
A2. 周辺大学教育学部を含めた入学試験倍率 （宇都宮大、群馬大、茨城大、埼玉大、文教大）		
A3. 県内高校出身者数、割合（H25～30）（志願者、合格者、入学者）		
A4. 周辺大学の入学者の構成（群馬大、宇都宮大、茨城大、埼玉大）		
A5. 栃木県、群馬県内高校生に対する共同教育学部についての意識調査		
B. 年齢別人口、大学等進学率	-----	p.29
B1. 群馬、栃木、埼玉県の前年齢別人口		
B2. 群馬、栃木、埼玉県の大学等進学率		
B3. 大学進学率推移（現役、エリア別：リクルート総研）		
B4. 都道府県別大学進学率（文科省、高等教育に関する基礎データ）		
C. 教員就職状況、教員需要をふまえた入学定員計画	-----	p.37
C1. 県内・近隣大学の中学校教科の免許状況		
C2. 栃木県、群馬県及び全国の公立小中学校の前年齢別教員数		
C3. 教員養成課程の大学別就職状況（H25～30）		
C4. 群馬、茨城、栃木、埼玉県の教員採用試験合格者数（H27～30）		
C5. 栃木県・群馬県教員採用試験における宇都宮大学・群馬大学の 学生の状況（H26～30）		
C6. 栃木・群馬県の教員採用推計、入学定員の適正規模推計		
D. 学生確保に向けた具体的な取り組み	-----	p.45
D1. 学部オープンキャンパスの参加者数		
D2. 高校の進路指導教員との意見交換、入試に関する説明会 の参加状況（H25～30）		
D3. 大学見学会、出張模擬授業の状況（H27～30）		
D4. 県教育委員会との連携事業（H26～30）		
E. 人材需要の動向等社会の要請	-----	p.51
E1. 栃木県・群馬県教員育成指標の概要		
E2. 栃木県・群馬県の教育関係機関（教育長、高校長協会長）からの要望書		

A-1-1 宇都宮大学教育学部入試 志願倍率等 (平成26年度～平成30年度)

選抜年度		平成30年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	5	5	3	2.5	2.5	1.7								22	77	73	26	3.5	3.3	2.8	6	58	35	9	9.7	5.8	3.9						
		特別支援教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
	教科文系	国語教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0								26	77	72	30	3.0	2.8	2.4	7	114	59	9	16.3	8.4	6.6						
		社会教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5																											
		英語教育分野	2	12	12	2	6.0	6.0	6.0																											
	教科理系	数学教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0	20	42	42	20	2.1	2.1	2.1	27	61	58	31	2.3	2.1	1.9	8	52	26	11	6.5	3.3	2.4						
		理科教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5																											
		技術教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
	教科実技系	音楽教育分野	2	4	4	3	2.0	2.0	1.3																											
		美術教育分野	2	6	6	3	3.0	3.0	2.0								30	79	78	30	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-						
		保健体育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		家庭教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
合計		24	62	62	27	2.6	2.6	2.3	20	42	42	20	2.1	2.1	2.1	105	294	281	117	2.8	2.7	2.4	21	224	120	29	10.7	5.7	4.1							

選抜年度		平成29年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5								22	47	45	26	2.1	2.0	1.7	6	40	18	14	6.7	3.0	1.3						
		特別支援教育分野	2	7	7	2	3.5	3.5	3.5																											
	教科文系	国語教育分野	2	2	2	2	1.0	1.0	1.0								26	72	71	30	2.8	2.7	2.4	7	78	35	30	11.1	5.0	1.2						
		社会教育分野	2	7	7	2	3.5	3.5	3.5																											
		英語教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
	教科理系	数学教育分野	2	9	9	2	4.5	4.5	4.5	20	50	50	21	2.5	2.5	2.4	27	45	45	29	1.7	1.7	1.6	8	48	21	18	6.0	2.6	1.2						
		理科教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
		技術教育分野	2	1	1	1	0.5	0.5	1.0																											
	教科実技系	音楽教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
		美術教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0								30	117	114	31	3.9	3.8	3.7	-	-	-	-	-	-	-						
		保健体育分野	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0																											
		家庭教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
合計		24	59	59	23	2.5	2.5	2.6	20	50	50	21	2.5	2.5	2.4	105	281	275	116	2.7	2.6	2.4	21	166	74	62	7.9	3.5	1.2							

選抜年度		平成28年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5								22	79	76	25	3.6	3.5	3.0	6	31	15	10	5.2	2.5	1.5						
		特別支援教育分野	2	14	14	2	7.0	7.0	7.0																											
	教科文系	国語教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0								30	73	71	33	2.4	2.4	2.2	9	79	35	17	8.8	3.9	2.1						
		社会教育分野	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0																											
		家庭教師分野	2	14	14	3	7.0	7.0	4.7																											
	教科理系	英語教育分野	2	8	8	2	4.0	4.0	4.0	20	45	45	22	2.3	2.3	2.0	27	58	58	30	2.1	2.1	1.9	8	42	19	11	5.3	2.4	1.7						
		数学教育分野	2	9	9	2	4.5	4.5	4.5																											
		理科教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
	教科実技系	技術教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		音楽教育分野	2	11	10	2	5.5	5.0	5.0								24	92	89	25	3.8	3.7	3.6	-	-	-	-	-	-	-						
		美術教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		保健体育分野	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5																											
合計		24	113	112	25	4.7	4.7	4.5	20	45	45	22	2.3	2.3	2.0	103	302	294	113	2.9	2.9	2.6	23	152	69	38	6.6	3.0	1.8							

選抜年度		平成27年度																						
選抜区分		推薦入試Ⅰ						前期日程						後期日程										
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率		
課程・専攻・分野名																								
学校教員養成課程	文系	学校教育専攻	2	15	15	2	7.5	7.5	7.5	43	140	138	15	3.3	3.2	2.5	10	101	48	5	10.1	4.8	4.0	
		国語教育専攻	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0				15							3				
		社会教育専攻	3	4	4	3	1.3	1.3	1.3				13							1				
		家政教育専攻	3	7	7	3	2.3	2.3	2.3				6							1				
		英語教育専攻	2	10	10	3	5.0	5.0	3.3				6							1				
	理系	数学教育専攻	2	13	13	3	6.5	6.5	4.3	24	55	53	15	2.3	2.2	3.5	7	37	18	4	5.3	2.6	4.5	
		理科教育専攻	4	8	8	4	2.0	2.0	2.0				11							4				
		技術教育専攻	3	9	9	4	3.0	3.0	2.3				3							1				
	実技系	音楽教育専攻	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0	21	18	18	7	2.9	2.8	2.7	-	-	-	-	-	-	-	
		美術教育専攻	2	6	6	3	3.0	3.0	2.0				6											-
		保健体育専攻	3	10	10	3	3.3	3.3	3.3				9											-
	特別支援教育コース 特別支援教育専攻		3	10	10	4	3.3	3.3	2.5	11	16	16	11	1.5	1.5	1.5	3	10	2	0	3.3	0.7	-	
	総合人間形成課程		20	44	44	20	2.2	2.2	2.2	30	75	72	39	2.5	2.4	1.8	10	51	30	12	5.1	3.0	2.5	
合計		51	156	156	56	3.1	3.1	2.8	129	347	338	156	2.7	2.6	2.2	30	199	98	33	6.6	3.3	3.0		

選抜年度		平成26年度																						
選抜区分		推薦入試Ⅰ						前期日程						後期日程										
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率		
課程・専攻・分野名																								
学校教員養成課程	文系	学校教育専攻	2	22	22	2	11.0	11.0	11.0	43	121	115	15	2.8	2.7	2.1	10	94	28	3	9.4	2.8	1.6	
		国語教育専攻	2	11	11	3	5.5	5.5	3.7				14							3				
		社会教育専攻	3	9	9	3	3.0	3.0	3.0				12							7				
		家政教育専攻	3	9	9	4	3.0	3.0	2.3				6							1				
		英語教育専攻	2	4	4	1	2.0	2.0	4.0				7							3				
	理系	数学教育専攻	2	11	11	3	5.5	5.5	3.7	24	100	99	15	4.2	4.1	6.6	7	65	31	8	9.3	4.4	3.9	
		理科教育専攻	4	12	12	4	3.0	3.0	3.0				10							3				
		技術教育専攻	3	4	4	4	1.3	1.3	1.0				2							1				
	実技系	音楽教育専攻	2	8	8	2	4.0	4.0	4.0	21	9	9	7	3.2	3.2	2.8	-	-	-	-	-	-	-	
		美術教育専攻	2	1	1	1	0.5	0.5	1.0				8											-
		保健体育専攻	3	13	13	4	4.3	4.3	3.3				9											-
	特別支援教育コース 特別支援教育専攻		3	12	12	4	4.0	4.0	3.0	11	30	29	12	2.7	2.6	2.4	3	24	7	3	8.0	2.3	2.3	
	総合人間形成課程		20	44	44	22	2.2	2.2	2.0	30	78	74	40	2.6	2.5	1.9	10	51	18	12	5.1	1.8	1.5	
合計		51	160	160	57	3.1	3.1	2.8	129	396	384	157	3.1	3.0	2.4	30	234	84	44	7.8	2.8	1.9		

群馬大学教育学部入試 専攻別志願倍率等(平成26年度～平成30年度)

※合格者数には追加合格者を含む

A-1-2

専攻	日程	平成26年度						平成27年度						平成28年度						平成29年度						平成30年度						日程	専攻					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数			受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率
国語	推薦	6	21	21	6	3.5	3.5	3.5	6	27	27	6	4.5	4.5	4.5	6	19	19	6	3.2	3.2	3.2	6	18	18	6	3.0	3.0	3.0	6	13	13	6	2.2	2.2	2.2	推薦	国語
	前期	15	32	32	16	2.1	2.1	2.0	15	48	48	16	3.2	3.2	3.0	15	39	39	16	2.6	2.6	2.4	15	28	27	16	1.9	1.8	1.7	15	34	33	16	2.3	2.2	2.1	前期	
	後期	3	36	15	4	12.0	5.0	3.8	3	40	23	4	13.3	7.7	5.8	3	33	11	4	11.0	3.7	2.8	3	28	12	4	9.3	4.0	3.0	3	23	8	6	7.7	2.7	1.3	後期	
	合計	24	89	68	26	3.7	2.8	2.6	24	115	98	26	4.8	4.1	3.8	24	91	69	26	3.8	2.9	2.7	24	74	57	26	3.1	2.4	2.2	24	70	54	28	2.9	2.3	1.9	合計	
社会	推薦	5	20	20	5	4.0	4.0	4.0	5	19	19	5	3.8	3.8	3.8	5	22	22	5	4.4	4.4	4.4	5	13	13	5	2.6	2.6	2.6	5	12	12	5	2.4	2.4	2.4	推薦	社会
	前期	17	47	46	18	2.8	2.7	2.6	17	47	47	18	2.8	2.8	2.6	17	50	50	18	2.9	2.9	2.8	17	39	38	18	2.3	2.2	2.1	17	45	43	18	2.6	2.5	2.4	前期	
	後期	4	58	27	5	14.5	6.8	5.4	4	44	17	6	11.0	4.3	2.8	4	48	23	5	12.0	5.8	4.6	4	45	20	5	11.3	5.0	4.0	4	38	16	5	9.5	4.0	3.2	後期	
	合計	26	125	93	28	4.8	3.6	3.3	26	110	83	29	4.2	3.2	2.9	26	120	95	28	4.6	3.7	3.4	26	97	71	28	3.7	2.7	2.5	26	95	71	28	3.7	2.7	2.5	合計	
英語	推薦																																		推薦	英語		
	前期	12	26	25	13	2.2	2.1	1.9	12	38	37	14	3.2	3.1	2.6	12	30	30	13	2.5	2.5	2.3	12	28	27	13	2.3	2.3	2.1	12	24	24	13	2.0	2.0		1.8	前期
	後期	3	37	14	4	12.3	4.7	3.5	3	48	14	5	16.0	4.7	2.8	3	32	12	5	10.7	4.0	2.4	3	40	17	5	13.3	5.7	3.4	3	35	5	4	11.7	1.7		1.3	後期
	合計	15	63	39	17	4.2	2.6	2.3	15	86	51	19	5.7	3.4	2.7	15	62	42	18	4.1	2.8	2.3	15	68	44	18	4.5	2.9	2.4	15	59	29	17	3.9	1.9		1.7	合計
数学	推薦	5	20	20	5	4.0	4.0	4.0	5	28	28	5	5.6	5.6	5.6	5	17	17	5	3.4	3.4	3.4	5	11	11	5	2.2	2.2	2.2	5	13	13	5	2.6	2.6	2.6	推薦	数学
	前期	18	58	58	19	3.2	3.2	3.1	18	52	49	19	2.9	2.7	2.6	18	43	43	20	2.4	2.4	2.2	18	58	57	21	3.2	3.2	2.7	18	44	43	20	2.4	2.4	2.2	前期	
	後期	2	34	14	2	17.0	7.0	7.0	2	23	15	4	11.5	7.5	3.8	2	31	12	3	15.5	6.0	4.0	2	37	19	3	18.5	9.5	6.3	2	31	13	3	15.5	6.5	4.3	後期	
	合計	25	112	92	26	4.5	3.7	3.5	25	103	92	28	4.1	3.7	3.3	25	91	72	28	3.6	2.9	2.6	25	106	87	29	4.2	3.5	3.0	25	88	69	28	3.5	2.8	2.5	合計	
理科	推薦	4	11	11	4	2.8	2.8	2.8	4	14	14	4	3.5	3.5	3.5	4	13	13	4	3.3	3.3	3.3	4	8	8	4	2.0	2.0	2.0	4	11	11	4	2.8	2.8	2.8	推薦	理科
	前期	17	33	33	19	1.9	1.9	1.7	17	38	36	19	2.2	2.1	1.9	17	29	28	19	1.7	1.6	1.5	17	27	26	19	1.6	1.5	1.4	17	37	37	19	2.2	2.2	1.9	前期	
	後期	5	30	9	5	6.0	1.8	1.8	5	46	22	5	9.2	4.4	4.4	5	24	8	5	4.8	1.6	1.6	5	36	9	5	7.2	1.8	1.8	5	43	15	6	8.6	3.0	2.5	後期	
	合計	26	74	53	28	2.8	2.0	1.9	26	98	72	28	3.8	2.8	2.6	26	66	49	28	2.5	1.9	1.8	26	71	43	28	2.7	1.7	1.5	26	91	63	29	3.5	2.4	2.2	合計	
技術	推薦																																	推薦	技術			
	前期	7	24	24	8	3.4	3.4	3.0	7	41	40	8	5.9	5.7	5.0	7	12	12	8	1.7	1.7	1.5	7	18	18	8	2.6	2.6	2.3	7	26	26	8	3.7		3.7	3.3	前期
	後期	4	27	27	4	6.8	6.8	6.8	4	39	23	4	9.8	5.8	5.8	4	19	10	4	4.8	2.5	2.5	4	21	16	4	5.3	4.0	4.0	4	21	13	4	5.3		3.3	3.3	後期
	合計	11	51	51	12	4.6	4.6	4.3	11	80	63	12	7.3	5.7	5.3	11	31	22	12	2.8	2.0	1.8	11	39	34	12	3.5	3.1	2.8	11	47	39	12	4.3		3.5	3.3	合計
音楽	推薦	2	18	18	2	9.0	9.0	9.0	2	22	22	2	11.0	11.0	11.0	2	12	12	2	6.0	6.0	6.0	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5	2	15	15	2	7.5	7.5	7.5	推薦	音楽
	前期	9	24	23	10	2.7	2.6	2.3	9	29	29	10	3.2	3.2	2.9	9	26	25	10	2.9	2.8	2.5	9	19	18	10	2.1	2.0	1.8	9	30	30	10	3.3	3.3	3.0	前期	
	後期	4	40	16	4	10.0	4.0	4.0	4	42	25	4	10.5	6.3	6.3	4	40	16	4	10.0	4.0	4.0	4	26	9	4	6.5	2.3	2.3	4	46	24	4	11.5	6.0	6.0	後期	
	合計	15	82	57	16	5.5	3.8	3.6	15	93	76	16	6.2	5.1	4.8	15	78	53	16	5.2	3.5	3.3	15	58	40	16	3.9	2.7	2.5	15	91	69	16	6.1	4.6	4.3	合計	

入学試験倍率（実倍率）

宇都宮大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.6	2.1	2.6	2.1	170
一般入試	2.7	2.0	2.4	2.0	126
推薦入試	2.2	2.5	3.3	2.5	44

群馬大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.2	2.6	2.8	3.8	220
一般入試	2.2	2.6	2.7	3.7	187
推薦入試	2.8	3.0	3.4	4.4	33

埼玉大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.8	2.7	2.7	3.2	380
一般入試	2.7	2.7	2.7	3.2	283
推薦入試	3.2	2.8	2.7	3.1	97

茨城大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	3.3	3.0	3.4	3.8	275
一般入試	3.1	3.0	3.3	3.9	222
推薦入試	4.3	3.4	3.9	3.7	53

文教大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	6.3	6.8	6.9	5.9	350
一般入試	6.7	7.3	7.4	6.4	233
推薦入試	2.5	2.5	2.6	2.3	117

「大学受験パスナビ」より

A-3-1 最近5カ年における県内高校等出身者の割合(宇都宮大学)

年度	教育学部								
	志願者			合格者			入学者		
	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計
26	48.87% 389	51.13% 407	796	52.90% 137	47.10% 122	259	57.40% 128	42.60% 95	223
27	58.33% 413	41.67% 295	708	62.86% 154	37.14% 91	245	65.12% 140	34.88% 75	215
28	53.33% 328	46.67% 287	615	58.79% 117	41.21% 82	199	63.58% 110	36.42% 63	173
29	49.73% 279	50.27% 282	561	54.26% 121	45.74% 102	223	57.80% 100	42.20% 73	173
30	47.54% 299	52.46% 330	629	51.03% 99	48.97% 95	194	55.56% 95	44.44% 76	171

A-3-2 最近6カ年における県内高校等出身者の割合（群馬大学）

年度	教育学部								
	志願者			合格者			入学者		
	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計
25	69.1% 627	30.9% 281	908	76.3% 183	23.8% 57	240	76.7% 178	23.3% 54	232
26	64.9% 616	35.1% 333	949	70.7% 171	29.3% 71	242	72.0% 162	28.0% 63	225
27	57.7% 726	42.3% 532	1,258	75.9% 186	24.1% 59	245	78.2% 179	21.8% 50	229
28	62.8% 598	37.2% 354	952	67.2% 164	32.8% 80	244	68.0% 157	32.0% 74	231
29	61.8% 577	38.2% 356	933	70.0% 170	30.0% 73	243	72.9% 167	27.1% 62	229
30	63.9% 530	36.1% 300	830	72.1% 178	27.9% 69	247	73.4% 174	26.6% 63	237

周辺大学を含めた教育学部の入学者の構成（2016～2018）

（大学ポートレートより）

 県内入学率

宇都宮大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
栃木県	110人	栃木県	100人	栃木県	95人
埼玉県	13人	福島県	13人	福島県	15人
福島県	9人	茨城県	9人	茨城県	10人
茨城県	8人	群馬県	9人	群馬県	6人
群馬県	4人	埼玉県	9人	埼玉県	10人
173人		173人		171人	
(2018年5月1日現在)		57.8%		55.6%	

群馬大学教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
群馬県	157人	群馬県	167人	群馬県	174人
埼玉県	23人	埼玉県	25人	埼玉県	19人
栃木県	14人	栃木県	10人	栃木県	14人
長野県	5人	長野県	7人	神奈川県	4人
福島県	3人	東京都	4人	長野県	4人
総数 231人		229人		238人	
(2018年5月1日現在)		72.9%		73.1%	

埼玉大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
埼玉県	155人	埼玉県	132人	埼玉県	150人
東京都	51人	東京都	63人	東京都	52人
福島県	26人	福島県	22人	福島県	17人
千葉県	26人	栃木県	18人	長野県	17人
栃木県	24人	茨城県	16人	栃木県	15人
長野県	23人	神奈川県	16人	新潟県	15人
群馬県	20人	長野県	16人	千葉県	13人
総数 449人		439人		389人	
(2018年5月1日現在)		30.1%		38.6%	

茨城大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
茨城県	174人	茨城県	195人	茨城県	178人
千葉県	14人	千葉県	20人	千葉県	24人
福島県	12人	福島県	14人	福島県	17人
栃木県	12人	栃木県	8人	東京都	13人
岩手県	7人	静岡県	8人	栃木県	10人
東京都	6人	秋田県	5人	群馬県	6人
群馬県	4人	群馬県	4人	静岡県	6人
総数 267人		284人		287人	
		68.7%		62.0%	

群馬県	11人	群馬県	5人
-----	-----	-----	----

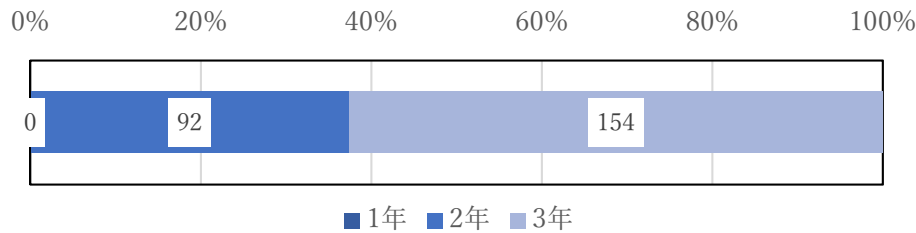
宇都宮大学共同教育学部設置構想についてのアンケート 高校生回答まとめ

<調査概要>

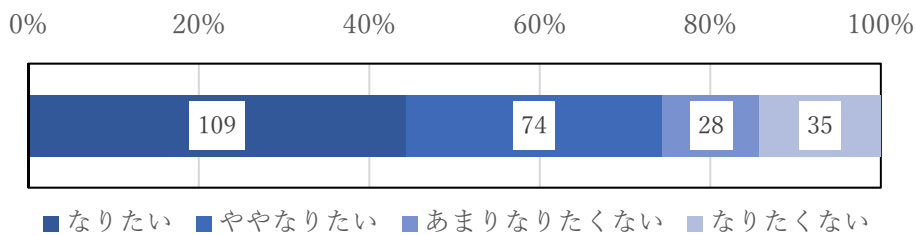
平成 31 年 1 月から 3 月にかけて、宇都宮大学教育学部への出願者の多い県内の高校 8 校に赴き、共同教育学部の説明を行い、高校生へのアンケート調査を依頼した。平成 31 年 4 月初旬に、共同教育学部のリーフレットとともにアンケート用紙を送付し、調査を実施した。回答は 246 名から得られた。内訳は以下のとおり（カッコ内は過去 6 年間の出願者合計と出願者数順位）。

栃木県立宇都宮中央女子高等学校	25 名	(153 名、第 1 位)
栃木県立栃木女子高等学校	40 名	(126 名、第 2 位)
栃木県立宇都宮北高等学校	23 名	(124 名、第 3 位)
栃木県立鹿沼高等学校	30 名	(112 名、第 5 位)
栃木県立大田原女子高等学校	37 名	(103 名、第 6 位)
栃木県立石橋高等学校	34 名	(101 名、第 7 位)
栃木県立大田原高等学校	26 名	(92 名、第 9 位)
栃木県立佐野高等学校	31 名	(30 名、第 22 位)

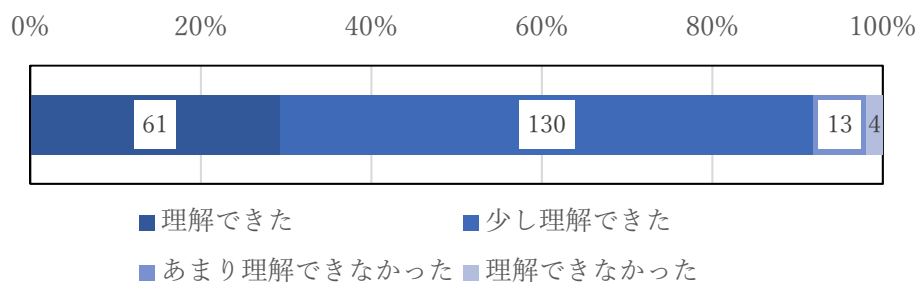
(1) あなたの学年を教えてください。



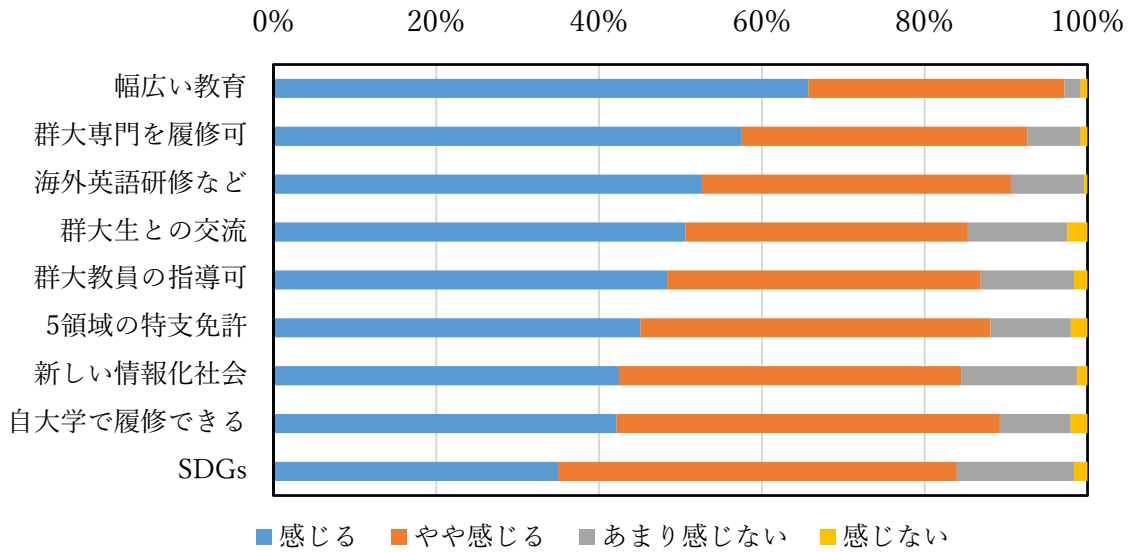
(2) あなたは将来学校の先生になりたいと思っていますか。



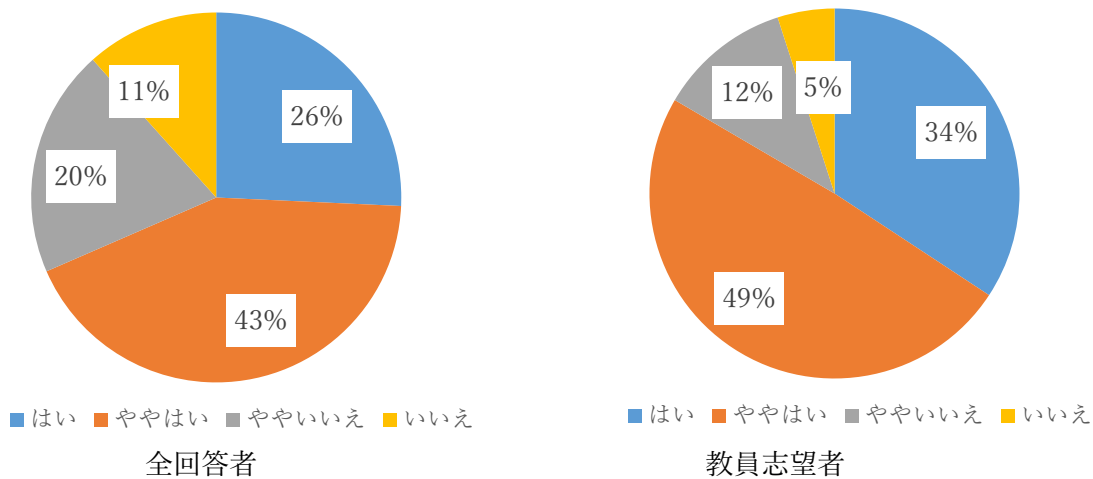
(3) リーフレットを読んで、共同教育学部を作る意義やメリットは理解できましたか。



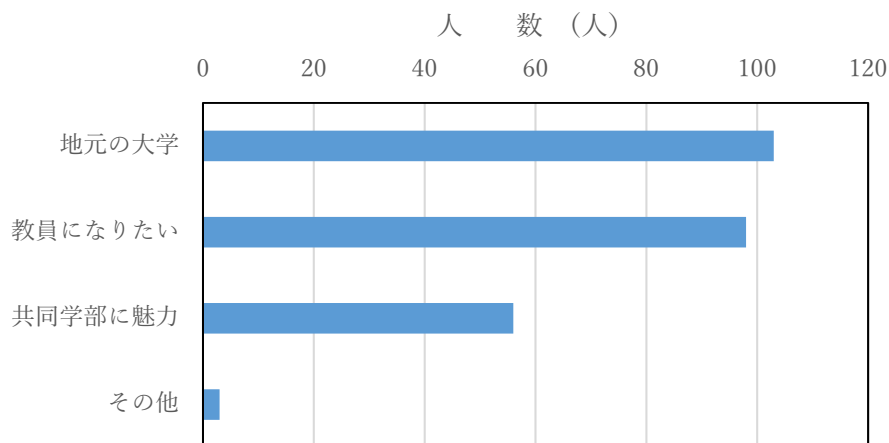
(4) 共同教育学部を作ることによって期待される以下の特徴に魅力を感じますか。



(5) 総合的に見て宇都宮大学共同教育学部を受験したいと思いませんか。



(6) 受験したいと思った理由



(7) 共同教育学部構想に対する意見・感想（自由記述、抜粋）

- ・宇都宮大学と群馬大学が連携することでより充実したカリキュラムが組まれることはとても良いことだと思う。
- ・スタッフが充実することがとても良いと思い、より大学に興味を持った。
- ・他の大学の先生の授業をうけることができていると思う。
- ・教員を目指している人にはとても魅力的だと思いました。今後もより良い教育学部を作り上げるために頑張ってください。
- ・双方向遠隔メディアシステムが現代的で面白いと思いました。2つの大学の幅広い教育が受けられるというメリットがとても興味深いです。
- ・普通の教育学部と何が違うのかよく分からない。
- ・群馬大学の教員の授業を受けることもでき、結果的に教員養成の質が上がると思うが、メディアを使った講義には不安が残る。

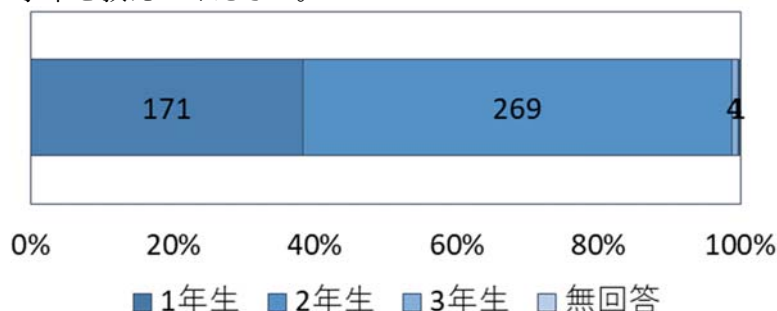
群馬大学共同教育学部設置構想について意識調査（高校生回答まとめ）

<調査概要>

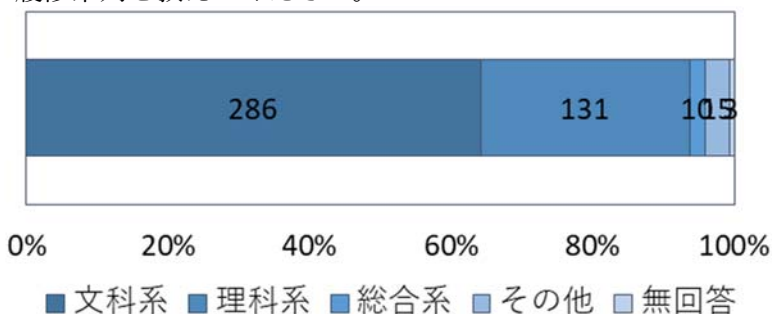
平成 31 年 2 月から 3 月にかけて、県内および近県の高等学校に赴き、共同教育学部に関する説明を行った後、アンケートを実施した。以下の 445 名から回答を得た。なお、(・・・) は平成 30 年度群馬大学教育学部の志願者数である。また、以下のグラフで総数が 445 にならないグラフがあるのは、2 項目に重ねて回答した生徒が 2 名いるためである。

2/27	群馬県立沼田高校	15 名	(6 名)
2/27	群馬県立渋川女子高校	31 名	(20 名)
2/28	群馬県立渋川高校	46 名	(9 名)
3/14	埼玉県本庄東高校	23 名	(15 名)
3/15	高崎経済大学附属高校	65 名	(22 名)
3/18	群馬県立前橋東高校	48 名	(12 名)
3/18	群馬県立高崎女子高校	51 名	(42 名)
3/19	群馬県立前橋女子高校	66 名	(55 名)
3/19	群馬県立太田女子高校	52 名	(21 名)
3/20	群馬県立高崎北高校	29 名	(27 名)
3/26	伊勢崎市立四ツ葉中等教育学校	19 名	(17 名)

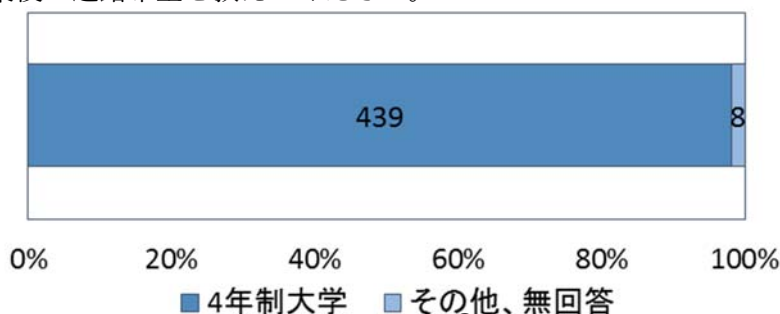
(1) あなたの学年を教えてください。



(2) あなたの履修系列を教えてください。



(3) 高校卒業後の進路希望を教えてください。



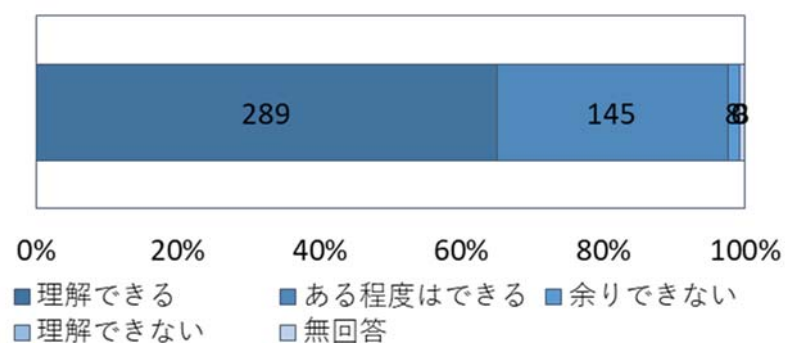
(4) あなたは将来学校の先生になりたいと思っていますか。



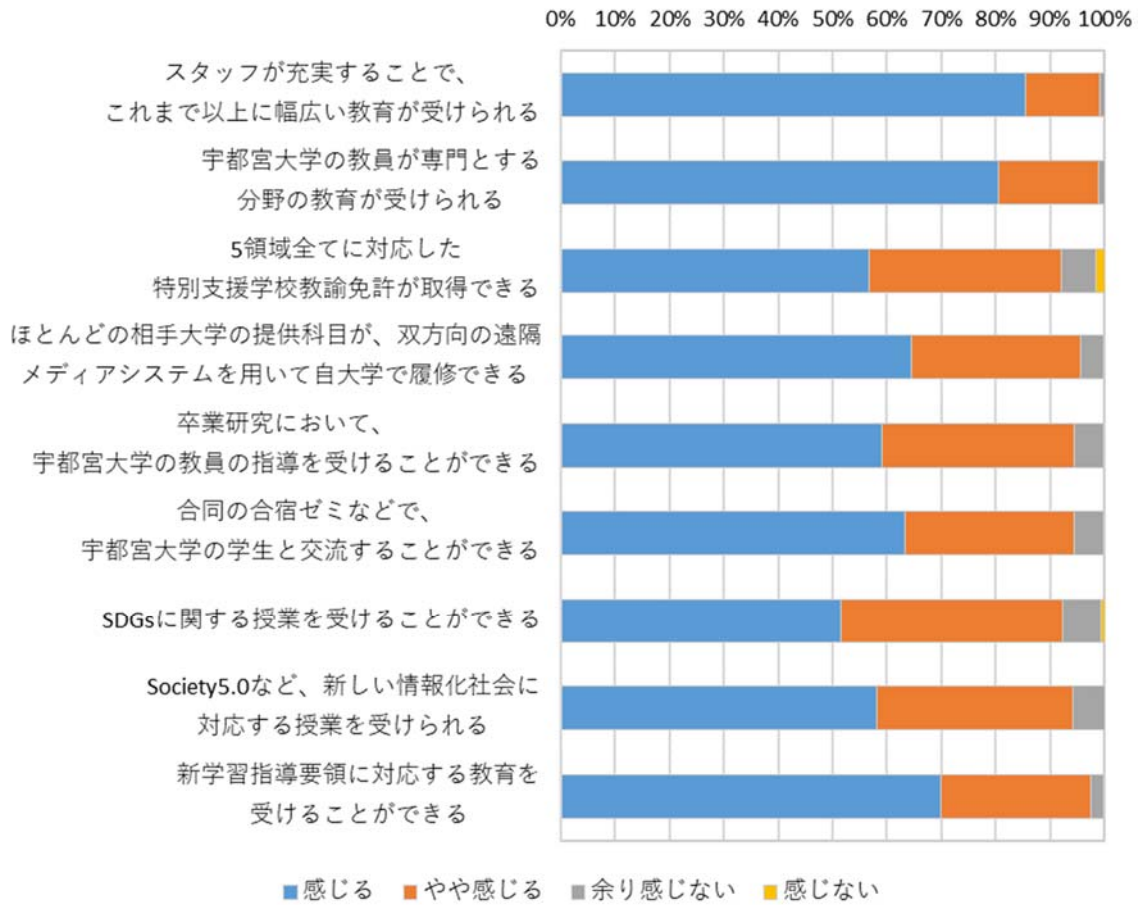
(5) あなたは群馬大学教育学部に入学したいと思いますか。



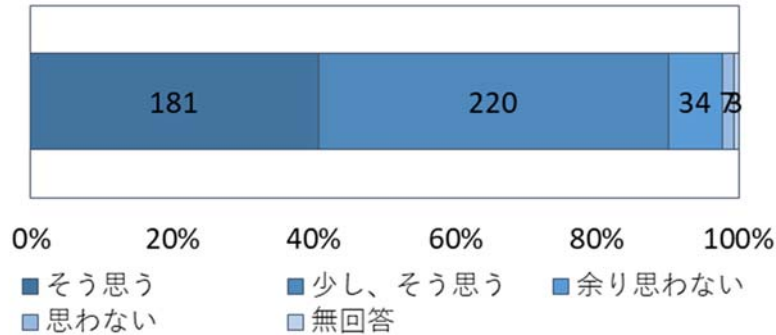
(6) 共同教育学部を作る意義について、どうお考えでしょうか？



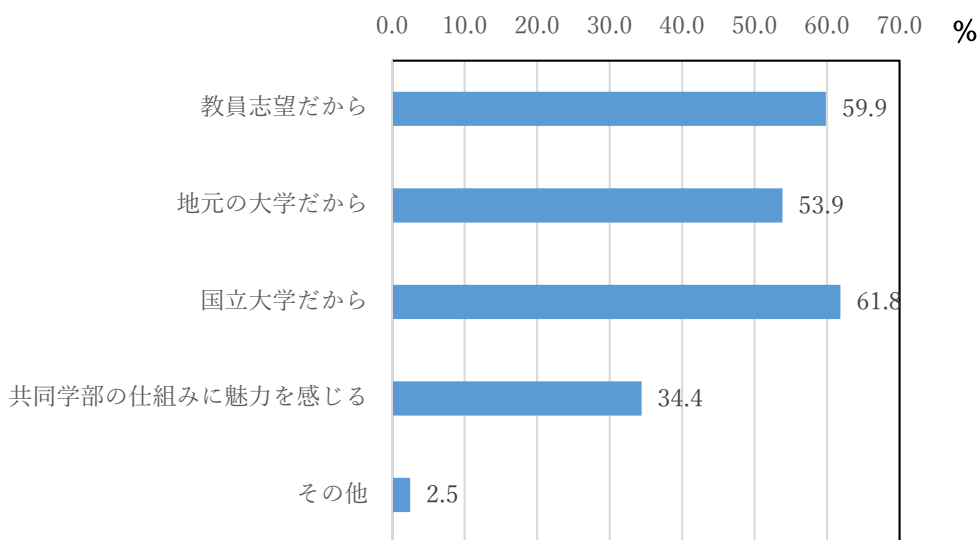
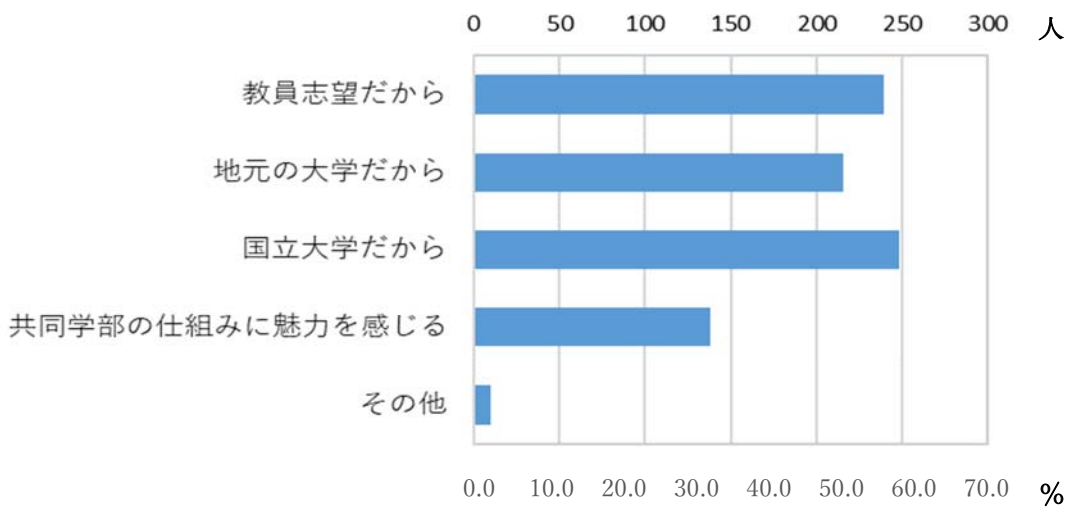
(7) 共同教育学部を作ることにより期待される以下の特徴に魅力を感じられますか？



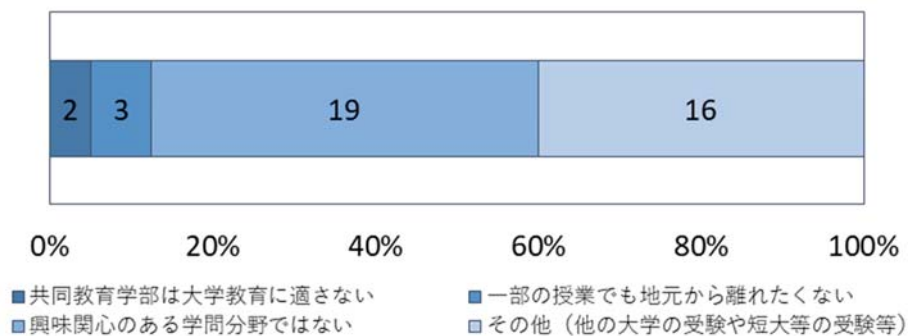
(8) 総合的に見て、群馬大学共同教育学部を受験したいと思えますか。



(9) (8) の問いで、「そう思う」「少し、そう思う」と答えた方にお聞きします。受験してみたいと思う理由をお知らせください（複数回答可）。



(10) (8) の問いで、「余り思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。受験してみたくない、と思った理由をお知らせください。



<共同教育学部構想に対する感想（自由記述）>

- ・宇都宮大学の先生が専門とすることを学びやすくするのはいいと思いました。また、学生同士の交流もあるのでいいなと思いました。
- ・最初は映像授業的なものだと思い否定的でしたが、live型のようなものと知り、いろいろな先生との触れ合いが増えてとてもいいなと思いました。
- ・お互いの得意とする専攻の授業が受けられるのはとても魅力的だと思いました。
- ・私は音楽専攻を志望していますが、宇大の学生と交流したり、一緒に演奏したりするのは楽しいと思います。
- ・教員の能力向上を目指すことで、その次の年代の教育の充実を図るという、3世代（？）間で関わることができる構想ですごいなと思いました。
- ・当初は驚いたが、少子化の影響を受けてしまうのは仕方がない。より多くの人と触れ合えるのは魅力だと思うし、このような少子化対策の先駆けとなるのは素晴らしいと思う。
- ・5領域の勉強を地元でできる点にとっても魅力を感じました。
- ・共同学部が変わることで群大ならではの実習がなくなってしまうのではと思ったが、それはないことで安心した。もう少し、しっかりと自分でも調べて受験したい。
- ・地元の学校に就職して教師になりたいと考えているため、地元の大学の教育学部でより高度な教育を受けられるのは嬉しいし、意欲も湧きます。

